

ナウル共和国で、リン鉱石を船に積み込むために使っていたキャンティレバーの残骸



となく 資源 という こと なる が

ナウルという国を知っていますか？ 太平洋に浮かぶ島、世界で三番目に小さな国です。この国はとても豊かでした。それは、リン鉱石という資源が採れたからです。

ひたすらリン鉱石を採っては、他の国に売ってきました。やがて…、そうです、リン鉱石を採り尽してしまっただけです。そして、世界中で最も貧乏な国の一つになってしまったのです。

私たちは、リン鉱石に限らず、金、プラチナ、鉄といった金属の鉱石や、石油など、様々な資源を世界中で掘り出して、利用しています。でもこのまま採り続けたらどうなるのでしょうか？ 鉱石や石油などの資源は、地球が生まれて46億年の間に作られてきました。そんな資源を私たち人間は、たった数千年で採り尽してしまうのかも知れません。時間が長すぎて、ピンとこないかも知れませんね。地球の歴史を1年間とすれば、大晦日の最後の1分ほどの間だけで資源を使い切ってしまうのかも知れないのです。どうすればいいのでしょうか？ この展示が、その答えを探す手がかりになるかも知れません。一緒に考えてみませんか？

—ナウル共和国の歴史と地球・宇宙の資源—



南アフリカ共和国、ヴィットウォーターズランド地域の合金礫岩



ニューカレドニア島、ガーニエライト



岩手県釜石鉱山、銅鉱石

- 【ギャラリートーク】**
- 第1回: 12/28 (月) 10:30-11:30 宮本英昭 (東京大学総合研究博物館・准教授)
 - 第2回: 1/30 (土) 14:30-15:30 新原隆史 (東京大学総合研究博物館・特任助教)
 - 第3回: 2/27 (土) 14:30-15:30 新原隆史 (東京大学総合研究博物館・特任助教)

開催期間: 2015.12/19(土)—2016.3/31(木)

開催場所: 文京区教育センター(東京都文京区湯島 4-7-10 2F大学連携事業室)

連絡先: 03-5800-2591

開館時間: 9:00-17:00 入館料: 無料 休館日: 日祝・12/29—1/3

アクセス: 地下鉄千代田線「湯島」駅より徒歩8分

地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩10分

主催: 東京大学総合研究博物館/共催: 文京区教育センター

